様式第８号

# 事　業　報　告　書

| | |
|---|---|
| 団　　体　　名 | 掛川ほんわかブッククラブ |
| 事　　業　　名 | 掛川ほんわか俳句大賞事業 |
| 事 業 内 容<br>（実施内容とスケジュールを具体的に記載） | １　作品募集の始まり　６月２０日<br> <br><br> <br><br>２　マスコミの協力による広報<br> <br><br>３　投句受付　開始　７月１日<br>４　こどもたちへのアプローチ<br>・俳句教室<br>横須賀小学校　みんな真剣に俳句作り　７月１３日<br> <br>・応募してくださった学校<br>小学校<br>中央・西山口・土方・横須賀・原谷・原田・佐束・桜木<br>上内田・城北・西郷・千浜・曽我・倉真・大坂・大渕<br>第一・第二・中・東山口・和田岡・向笠 |

中学校

城東・栄川・原野谷・桜が丘・西・大須賀

大浜・東・北

高校

掛川東・掛川西・横須賀・天竜・ふじのくに国際

５　市民へのアプローチ

・おもと学級で俳句教室　大須賀中央公民館　９月４日

６　審査会の開催１０月１８日（審査員＋事務局）

７　入賞作品の墨書を市内５人の書家へ依頼

８　色紙短冊台紙・額飾り制作・賞状づくり

９　入賞作品展　１１月～１２月

句題写真・墨書色紙短冊の展示会の開催

作品集発行

| | |
|---|---|
| | １０　授賞式（市長賞・教育長賞・大会賞等）の開催<br>大日本報徳社大講堂<br>市長・副市長・教育長・図書館長・文化財団二の丸美術館館長・中日新聞社静岡新聞社両支局長臨席<br> <br> |
| 事 業 成 果<br>（事業計画に記載した目的、成果目標及び波及効果に対する達成度等） | ・郷土の風景写真を見て、俳句を創作することで、郷土への愛着がますます醸成された。また、その行為を通して文芸の楽しみが広く市民の間に広がった。<br>・応募総数は２，６２４句、展示会には両会場合わせて約４５０人の鑑賞者があった。<br>・この大会を知り、多くの市民がその意図に賛同し具体的に支援の輪が広がり、市民文化活動の活性化の一助となった。<br>・市内の小学校のほとんどが参加してくれ、俳句大会の活動が定着してきたことを感じた。<br>・さらに幼児の投稿もあり、子育て支援としても盛り上げることができた。 |
| 事　業　期　間 | 令和６　年　６　月　20　日　～　令和７　年　１　月　31　日 |
| 今後の事業展望<br>（反省点・改善点、短期及び中長期のビジョン、継続性・財源確保等） | ・反省点・改善点<br>幼児から成人まで幅広く投稿を呼びかけたが、幼児の部の浸透がいまひとつであった。今後、具体的に幼児向けの俳句教室を開催するなどして、俳句に対する創作意欲を喚起したい。<br>・展望<br>市や教育委員会の後援を得て、小中学校への呼びかけは行えたが、高校や一般の市民への広報には課題が残った。財政の問題はあるが、引き続きほんわかブッククラブで工夫しながら継続していきたいと考えている。 |